

Union Press 埼玉大学教職員組合ニュース

平成29年9月発行 第4号

期末試験、成績提出、大学一斉休業中はお盆の準備でぎっくり腰。ずいぶん昔のような気がします。一斉休業が終わるや否や、様々な業務が目白押しで、自転車操業のような毎日。と、UPの発行が遅れてしまった言い訳をしています。

第4号は、すこし遅くなりましたが、暑気払い（交流会）と、有期雇用教員からの記事をお送りいたします。

【広報担当：近藤】

暑気払いをやりました！！

暑さが厳しかった7月27日に「バル・メリンの森」で暑気払いをおこないました。木曜日（花金ではない）ということもあり人数のうえで心配しましたが、20人あまりの方に参加していただきました。

山本委員長（教養）が挨拶した後、馬場先生（教育）の「乾杯」の音頭で参加した皆さん、まずは‘グイッ’と一杯ビールを飲んでしまった暑気払いは、川元先生（教育）が手堅い進行役を務められるなか、3つの催しものがおこなわれました。



一つ目は、内山先生（工学）のフルートと豊岡先生（工学）のギターによるセミ・プロ級の技が光る熱い演奏で、クラシックからポピュラーまで幅広いジャンルの音楽が聴けました。ご本人達は「BGMとして聞いてくだされば」とのことでしたが、軽く聞き流せるようなものではなく、贅沢な時間を楽しめました。

二つ目は、近藤先生（教育）によるリコーダー（縦笛）の演奏？をしていただきました。その中で長年の趣味から得た知識を披露していただき、子供用のものは音程がはずれていることを実演されながら紹介されました（これでは、音痴を養成しているようなもの）。また、これまで収集されてきた多種類のリコーダーを演奏していただきました。

三つ目は、金房（経済）によるワインの「利き酒」会を開きました。これは、赤白交えたワインを値段の高い順にならべて当てること（酒好きに有利）、さらにソムリエ風にそれぞれの特徴を的確に言い表すこと（表現力・想像力が必要）等を競うといものです。値段についてもさることながら表現することにも皆さん苦勞されていました。これからは飲むばかりではなく表現力も鍛えましょう。結局、参加者の順位は曖昧なままで終わってしまいました（なぜなら、私がこの時かなり酔っばらっていました。一すみません）。

このように、予想していた以上に皆さんの御協力のおかげで楽しめましたことに、感謝いたします（おおきに！）。（文責：金房）



◎有期雇用とは？

埼玉大学では、多くの有期雇用の方が活躍しています。忙しい時期（入試や集中講義など）に短期間仕事を願うアルバイト・パートの方もですが、一般??の教職員と全く同じ（それ以上）働き方をしているので、有期雇用の方がどなたかはわからないと思いますが、埼玉大学の重要な職務を担っている方々がいらっしゃいます。そういう意味で「活躍」と記させていただきました。埼玉大学のために活躍していらっしゃるにもかかわらず、有期雇用であるため多くの悩みを抱えていらっしゃるようです。

今回は、有期雇用の教員の方からの報告です。教員の場合は、「任期付教員」として知られています。実は、私も有期雇用でした。そのため、将来に不安のある毎日だったのを覚えています。有期雇用の方々の不安を解消できるよう、みなさんの理解と協力をお願いしたいと思っています。

「10月に有期雇用教員に関するアンケートを計画中です。皆さまのご協力をお願いいたします。」

有期雇用教員の立場から

本学の専任教員ですが、有期雇用で、更新時期はまだ迎えていません。

私は組合に入会し数年経ちますが、いまだ自分達の労働条件に関する問題をきちんと把握できておらず、毎回、会議のたびに現状に驚きつつ勉強しております。

私の浅い理解では、現在のところ、1. 地域手当が満額出していない、2. ボーナスが公務員より少ない、3. 有期雇用（非常勤を含む）の問題、が大きな問題としてあることがわかりました。一労働者として、賃金の確保をした本学の運営計画を望んでいます。

特に、私としましては、有期雇用の問題が最も重大です。本学の研究や教育のあり方については、長期的な展望をもつ中で検討、実践する必要があります。もちろん個人的な研究を進めていくことにおいても、長期的な展望をもつことは必須です。

あと数年で本学を去らなければならない状況で、大学近郊に住居を定めることもできず、経済的にもこれからの生活への不安を抱えています。これからの埼玉大学を考え、それに向けて貢献していこうにも、数少ない他大学での公募を見ながらという状況では集中しきれません。人生の展望を明確にもてないということは大きな精神的不安となります。

有期という雇用形態に承諾し、既に契約をし、更新を控えている立場から、こういった要望を発言することにも、大きな不安を感じています。

もちろん現在も本学における研究、教育に尽力していますし、授業、学生指導、委員会、地域ネットワークの構築など、さまざまな形で本学に貢献していると自負しています。学生からも教育、研究指導の面で、大きな期待が向けられていることを実感していますし、それに十分に役立てていきたいと思っています。

私としましては、1, 2の課題の解決も重要ですが、それよりも、無期雇用になることを望んでいます。そういった安定した位置づけが、精神的にも安心をもたらし、本学での研究、教育への貢献度をより一層上げるものと考えています。学部や各センターなど、所属部局によって状況も大きな違いがあると思いますが、いずれの部局もこれからの埼玉大学を支えていく上では等しく必要不可欠だと思います。その中で安心して研究、教育等に尽力し、長く腰を据えて本学への貢献を積み上げていけるよう努力していこうと強く願っています。



埼玉大学教職員組合 〒338-0825 さいたま市桜区下大久保 255 第2 生協 1階
E-mail : saikyoso@gr.saitama-u.ac.jp URL : <http://Kumiai.client.jp>
電話/FAX : 048-853-5609 (内線) 3160
組合事務室の開室時間 : 月火水木 午後 12 時～夕方 5 時

